

みんなの議会

第**57**号

令和元年
8月号



P2

委員会

常任委員会構成

P3

議案

庁舎整備事業等

P4

予算

6月会議 注目すべき予算

P6

町政を
問う

一般質問 5名が登壇

P12

委員会

調査報告

委員会構成が変わりました。



議長 大村 明雄
副議長 川原 拓郎

令和元年5月 新たな委員会となり、スタートしました。

常任委員会	職名	総務民生常任委員会	教育産業常任委員会	広報広聴常任委員会
	委員長	浪瀬 敦郎	持留 秋男	木佐貫 徳和
	副委員長	後藤 道子	大久保 孝司	津崎 淳子
	委員	松元 勇治	日高 孝壽	松元 勇治
	〃	津崎 淳子	大坪 満寿子	後藤 道子
	〃	水谷 俊一	木佐貫 徳和	水谷 俊一
〃	大村 明雄	川原 拓郎	大坪 満寿子	

議会運営委員会	委員長	大久保 孝司
	副委員長	浪瀬 敦郎
	委員	持留 秋男
	〃	木佐貫 徳和
	〃	後藤 道子
	〃	津崎 淳子
	〃	川原 拓郎

議会選出監査委員

日高 孝壽

※常任委員会の任期は2年間となっています。この他、必要があると判断された場合、その都度、特別委員会が設置されます。

議会一部事務組合	大隅肝属広域事務組合	大隅肝属地区消防組合	南大隅衛生管理組合
	松元 勇治	大久保 孝司	津崎 淳子
	川原 拓郎	水谷 俊一	後藤 道子
			大坪 満寿子

6月 会議

一般会計5千6百51万9千円を追加し
 総額71億2千9百40万5千円に！

庁舎整備事業(新庁舎備品購入事業)継続費
 1億1千4百79万円を計上

(支出予定は令和2年)

6月会議は、11日から20日までの10日間開催されました。

初日の11日には、一般質問が行われ、5名の議員が防災や町政全般に関する様々な問題や現状、方針を質問しました。

また、2件の報告を受けたのち、条令6件、契約補正予算4件と契約1件を審議の上、可決、陳情1件を採択しました。

5千6百51万9千円の一般会計補正予算の主な内訳は、「プレミアム商品券」「農業・農村活性化推進施設等整備事業」「公営伊座敷団地裏斜面変状調査」などが含まれ、他に国民健康保険事業特別会計補正予算なども可決決定されました。



私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は表決には加わりません。

		浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予算	令和元年度 一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和元年度 特別会計補正予算(3件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	条例制定の件(6件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	南大隅町本庁舎建設工事(電気設備工事)締結(1件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

陳情の審査報告

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の要請についての陳情書

採 択

庁舎整備事業 (新庁舎備品購入事業)継続費

現在施工中の建設工事との調整を今年度から進める必要があることから「継続費」として予算計上します。

【今回計上備品】

- ・ブラインド
- ・窓口カウンター
- ・倉庫ラック
- ・ロッカー
- ・キャビネット
- ・議場家具
- ・議場システム等

1億1,479万円

6月注目すべき事業!!



農業・農村活性化推進施設等整備事業

地域住民が直営施工により、用水路布設等を行う事業で営農上の利便性の向上を図り、完了後の維持管理も適正に行うことを目的とします。
(対象地区：曲迫2地区、柿迫地区、中園地区)

626万円

うち県補助金：240万円



畜産施設等整備事業

- 簡易牛舎設置事業
事業費7,000万円 1/3補助 120万円(上限360万円)
- スタンション設置事業
事業費30万円
1/2補助 12万円(1頭4.5千円)
(上限1頭9千円)

132万円



プレミアム付商品券
¥500円
南大隅町

プレミアム付商品券発行事業

今年10月から、一定期間に限り
使用できるプレミアム付き商品
券を発行・販売します。
(低所得者、子育て世帯(0~2歳)
に対して)

2,152万円

国庫補助金



IT 推進事業

- ①最新のIT 関連情報
- ②関係機関との連携構築
- ③IT 関連情報の共有と周知を進めます

167万円



公営・町営住宅戸別 受信機整備事業

135万円

森林環境譲与税関係事業 (積立金)

税制改正において森林環境税及び森林環境譲与税が創設されたことにより南大隅町森林環境譲与税基金条例を制定し公布された基金より関係事業で使用した残額を積み立てます。

森林環境譲与税 (567万円) - 森林環境譲
与税関係事業 (180万円)
= 積立金 (387万円)

387万円

〔補正予算〕



掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待について ・災害対策について 	後藤道子
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「IoT・AI を活用したスマートタウンの推進」について ・子育て包括推進室新設について 	松元勇治
3	<ul style="list-style-type: none"> ・町民生活に密着する道路の改良について 	浪瀬敦郎
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティのあり方について 	水谷俊一
5	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の整備について ・観光振興について 	津崎淳子

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人あたりの持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

後藤 道子 議員



児童虐待防止に対する対策は？

町長 IOT、AIを活用して新たな相談体制の準備を進めています

教育長 学校現場では、児童生徒との出会いの場で、日常との違いがないか日々観察し、専門スタッフの積極的活用にも努めています

議員 本町において、これまで虐待の事例はないか伺います。

町長 平成三十年度の相談件数は二件です。関係機関から相談があった事案です。

事実確認を行った上で、関係課並びに児童相談所等とケース会議を開催し、それぞれのケースに合わせ、現在も継続支援を行っているところでです。

議員 継続支援を行っているという点ですが、具体的にどういう支援か伺います。

町保健課 一件目の支援は、見守りの支援活動、二件目は学校を中心

にした支援の継続です。

議員 学校で、児童・生徒に虐待とはどういうものかというような教育はなされているのか伺います。

教育長 専門的にはしていません。しかし、これだけの事件が頻発に起きているということであれば当然やっていかなければならないと思っています。特に養護教諭を中心とした啓発活動教育に努めて、管理職の研修会等を通じて、私の方でも積極的に指導、或いは啓発していかなければならないと考えています。

議員 五月に「みなまある」を開設されて、児童虐待防止をするという良い環境にあると思います。

各学校、保育園、幼稚園との連携を取りながら職員研修等を行うことを希望します。

本町における災害対策の課題は何か伺う

町長 高齢者の避難対策、指定避難所の整備・充実、津波対策避難所が少ないのが課題、消防団員の防災能力の向上と団員の確保

議員 「南大隅町地域防災計画」の新たな策定はできたのか伺います。

町長 防災会議において一部改定案が承認されたところです。災害種別ごとの対策が必要なことを踏まえ、本町の実情にあつた抜本的な見直しを行い、本年度は「見直し案」を作成し、来年の防災会議を目処として策定することとしています。

議員 少子高齢化に伴い団員が減少していき、新規加入される団員も少ない中で、女性消防隊の人員増強をする考えはないか伺います。

総務課 現在佐多地区居住の十四名の方が女性消防隊で活動され

ています。しかしながら、根占地区居住者がいらつしやらないので、今後各種団体、商工会、各事業所の協力を通じて呼びかけを実施しようと考えています。

議員 事業所関係、女性会等に声をかけて協力をいただき、南大隅町で災害が起きて、その被害が拡大しないよう防災・災害対策をとつていただき、この課題を克服するための研修をされ、より良い南大隅町地域防災計画が策定されることを希望します。



議員のひとり言

虐待かもと思ったら189番へ（近くの児童相談所へ繋がります）

人口減少に

歯止めをかける施策を問う



町長

IoT・AIで行うスマートタウンの推進、空き家対策など民間事業者と連携し検討します

議員 光回線などのインフラ整備は、町内どの程度普及しているのか伺います。

町長 町内の光回線の整備状況は、世帯数の見込み数で73%です。それ以外の地区は、光回線が4G・5Gにしていくか、民間業者と協議中です。

議員 通信インフラは、特に防災、福祉に関係しますので、地域によって格差のないように普及していただきたい。

議員 農業分野における地域IoT実装推進事業の計画と対象作物を伺います。

町長

栽培管理データを共有分
析し、栽培マニュアルの策
定や関係機関・団体等の研修会に
より、農家の生産性や所得の向上
を資するものとなっております。

議員 他の分野において計画されていているものはどのようなものか伺います。

町長 教育プログラミング支援、農業を含む産業支援、セキュリティ対策等、民間事業者と連携し、検討を進めています。

議員

教育の分野で少子化による小中一貫校の問題がありますが、少ない子供たちに充実した教育をするため、2020年度からプログラミング教育が必須化されますが、それに対応する、ICT関係では、どのような対応を

空き家対策について

議員

売買・賃貸をスムーズに行えるよう、行政、不動産業者、金融業者をマッチングする施策はできないか伺います。

町長

平成22年から「空き家バンク」を、今年度から「空き家・空き地バンク」を運用しています。現在まで130件の登録があり、売買15件、賃貸84件、合計99件の実績がありますが、新規登録が少ない中今後登録件数が進むよう、民間業者を介すか、世話人のような担当者を付けるか検討していきたいと思っています。

議員

空き家パトロールを行う計画は考えられないか伺います。

されているか伺います。

教育長

109台の学校教育用タブレットや大型ディスプレイの導入を行い、IoT社会に対応できる児童・生徒の教育を行っていきます。

町長

空き家を有効活用するためにも、自治会長からの情報収集も併せて、パトロールも実施してまいります。

議員

町内全体の空き家数1,276棟（H28年調べ）今後、高齢者などにより、空き家が多くなる中、移住者などが住める家を整備していく必要性を強く感じます。



議員のひとり言

情報をできるだけ多く集める努力が大切である。

生活に密着する 道路改良について



門木柿迫線の部分的改良はできないか伺います

議員 大竹野地区高規格道路に行く時、門木から柿迫に向けて近道として利用する車が非常に多く離合に危険であるが、部分的改良はできないか伺います。

町長 一級町道であり交通輸送に重要な道路であります。交通事故の観点からなるべく幅員の広い横別府上線の通行をお願いしたい。

議員 人間の心理としてどうしても近道をしてしまうので、地元の方々のためにも離合場所を検討していただきたい。

町長 危険箇所もあるとは認識していますので、交通量や大隅縦貫道の整備状況を勘案していきます。

根占中学校入口(国道側)に通行区分帯の要望はできないか伺います

議員 根占中学校裏門は通勤時間帯に保護者の送迎等で後続車が渋滞するなど日常的に危険な状態が続いているが、国道に右折レーン左折レーンの設置要望はできないか伺います。

町長 裏門入り口付近は特に朝の時間帯においてスクールバスや送迎車が多い状況です。学校管理者(教育委員会)の意見を聞き、必要であるとの判断になれば道路管理者の県に要望したいと考えます。

議員 上下線とも渋滞し、保護者が入りたいたい時、入れない状況があるので、裏門を広げるなど入りやすくする対策は考えられないか伺います。

教育長

保護者の車が送り迎えすることに関しては如何なものかと思っております。もし敷地内に入ってきた車と生徒との接触事故を起こした場合、教育委員会に責任があるので学校敷地内には保護者の車は入れないというのが原則であり、保護者の送迎についても考慮していただけたらと思います。もし、必要であれば要望していきたいと考えます。

議員

雨の日や台風時は親として送って行くと思う。また大会等があり町外からの人たちにもそのような現象が起きているので、学校側と保護者が協議してください。



国道側 (根占中学校出入り口付近)

県道辺塚根占線出口地区の今後の改良計画を伺います

議員

出口地区の県道拡幅について、私が前回質問してからその後ど

のような事業計画になっているか進捗状況を伺います。

町長

現在、水枝谷地区で工事が進められています。出口地区は設計が完了し、現在用地交渉を進めているところでもあります。

議員

行政の仕事に関して思いますが、国体があるから改良したのか、常日頃の状況を見て拡張したのかどうか伺います。

町長

出口地区は木が覆い被さっており、離合が困難であると思っています。国体のタイミングもあり大隅縦貫道との接続路線でもあるので今回要望しているところであります。

議員

生コン工場もあるので是非これを強く要望し、急いでもらい、早期完成をお願いします。



門木自治会付近の道路

議員のひとり言

出来る対策を考えよう！！

地域コミュニティの再構築が必要であると考えるか？



町長 将来的には、必要だと考えます

町長 本町の自治会に於いては、人口減少、少子高齢化等により、自治会活動が困難になってきている自治会もあります。現在、「地区社会福祉協議会」の設立を進めています。将来的には、福祉分野だけでなく、全てに対応できる組織の構築が必要だと考えます。

議員 私が話を進める「新たなコミュニティ組織」とは、現状の自治会組織を代替えるものではなく、各自治会組織を活かし、それらを基本としながら、少子高齢化及び過疎化等に於いて、個別の自治会だけでは対応が困難な課題にのみ対応する組織の事であり、私の考え方に対しての町長の見解を伺います。

町長 新たなコミュニティが自治会合併をするものではないというの、正しいと思います。決にはつながらないと考えます。

町長 既存の自治会を統合しても課題解決にはつながらないと考えます。現在、1年かけて地区社協設置のために、担当課と社会福祉協議会が、地域の方々と話を進める中で、様々な課題が出てきます。その解決策を探る中、突然、ターニングポイントが現れ、これならできるといふ話の中で「地区社協」が出来たと理解しています。「新たなコミュニティ」に関しては、素晴らしいリーダーを中心に様々な事業を展開しているコミュニティを見ると羨ましく思います。議員が言われる「新たなコミュニティ」づくりの意見には、賛同します。

議員 新たなコミュニティを創っていくうえで、最も重要

な事は地域住民の思いや本音を聞き出す事。その為には地域住民の信頼を得る事が第一だと考えます。現在、地区社協設立にむけて努力されていますが、ここで住民福祉の観点からこの問題について考えてみたいと思います。それは、「地域包括ケアシステム構築」の必要性をどのように考えるか伺います。

町長 地域共生社会の実現に向けて「地域包括ケアシステム」の深化・推進」を最重要課題に掲げ、個人が住み慣れた地域でその人らしい生活を送る為に、医療介護等の社会資源が少ない本町の実情を考えますと地域力が大きな役割を果たす事からまずは地域住民同士の繋がり、地域の基盤強化のため「地区社協」の設置を進めております。現在、在宅医療・介護認知症対策、生活支援事業などを展開していますが、多くの課題があり、今後は、町全体で取り組んでいくべきだと考えております。

議員 厚生労働省が2025年をめぐりに、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最

後まで続ける事が出来る様、地域の包括的な支援・サービスの提供する「地域包括ケアシステム」を構築するとしています。これらの事業を実施していく中で、一番大きな問題は支える人と支えられる人の比率です。現在、高齢化率は48・29%です。これでは互助・共助など不可能だと考えてしまいます。そこで、南大隅町では75歳以上を高齢者と呼ぶようにしたらどうでしょうか。医療保険や年金には関係なく、ただ見方、考え方を変えるだけです。そうすると、高齢化率は30・62%です。1・07人で1人を支える現状が、2・26人で1人を支える事になり俄然、元気が出てきます。この考え方なくして、新たなコミュニティづくりは、実現出来るものではありません。

では、具体的にどの様なコミュニティをどのようにして創るのかは、9月議会で議論したいと思っております。

町内における防犯灯の管理状況は？



町長 町は、通学路や管理施設の防犯灯を設置・維持管理し各自治会は、自治会内の防犯灯の設置・維持管理を行い、その設置や修繕などの費用の一部を町が補助しています。各通り会が維持管理をする街路灯、県管理施設に県が設置している防犯灯等、形態は様々で、それぞれが管理されている状況です。

議員 国道沿いの街路灯は、通り会・街路灯管理組合により管理されていますが、運営状態は、「まち通り会」を除く6団体は、財政が厳しいです。それは広告料や電気料を払っていた商店の閉店や企業の撤退と管球交換による高所作業車代が高いのが原因です。高所作業車代が3万円〜3万9千円かかり、1電灯が消えても何灯かまとめてでないと交換出来ないのが現状です。辺塚は管球交換を諦め、自治会に交付される補助金で既存の柱に自分達で交換出来る高さのLED電灯を設置しています。大中尾は、2基あり、1商店と自治会が1基ずつ電気代を負担しています。

6団体は、財源がなくなれば、街路灯の維持・管理が出来ないと言われまし

た。このままいくと、主要な道路の灯りが消えてしまい、車の運転も危険になり防犯上もよくありません。立派な柱だけあって灯りがなければさびれた町に見えます。街路灯は設置して30年近く経ち劣化しています。伊座敷通り会の街路灯は、昨年、経年劣化と塩害による腐食で根元から柱が倒れたそうです。今後、このまま、この街路灯を使用するのか、撤去するのか、新設すべきか、どこが管理すべきか、町が主導となって、商工会と7団体とで協議をしていくべきだと思います。いかがでしょうか？

町長 何らかの措置はしないといけないとは思っております。街路灯管理組合が事業主体ですので、ご意見をそれぞれ聞き、全体の総意を汲み上げ検討したいと思います。



町内の街路灯

高齢者宅に転倒防止・不法侵入防止の為、照明器具を設置できないか伺います

町長 町が個人宅への照明器具を直接支援は制度上、難しいので各自治会が自治会内の必要な箇所を取りまとめ、自治会の総意として要望頂ければ、自治会への支援という形で実施を検討いたします。(元気みなぎる町民補助金やチャレンジ創生事業なども活用可)



ソーラー式センサーライト

この他に
 ・自治会で電灯の新設・補修・管球交換の補助金活用について
 ・通学灯について
 ・港公園の防犯灯について
 ・大浜海水浴場の水飲み場兼足洗い場について質問しました。

新たな宿泊ツール(手段)としてオートキャンプ場を新設する考えがないか伺います

町長 町誘客観光基盤整備基本計画を定めており、大泊小学校周辺に民間資本によるホテルやレストラン建設の提案があり、旧大泊小学校跡地でのキャンプ場整備工事を今年度から着工する予定です。今後、民間の動向を注視し、地域の意見も賜りながらオートキャンプ場も本町観光振興に必要な宿泊ツールの1つとして検討してまいります。

議員 年々、キャンプ人口が増えていくので、自然を生かし、整備すれば有料でも人は来ます。例えば、根占でも、現在、港公園で空中テントをされていますが、そこに空中テントゾーン、フリーテントゾーン、憩いの家跡地には電源サイトゾーンとすれば、子供の遊具施設・なんたん市場・ネッピー館・トイレもあり、フェリー乗り場も近いので魅力的なキャンプ場になると思います。経済効果も生まれます。是非、観光ツールの1つとして考えていただけたらと思います。



最近のテント

議員のひとり言

灯りは、欠かせないもの。町の灯りが消えていたら、総務課へご連絡を。

総務民生常任委員会では、令和元年5月27日、町内において、総務課消防係立会いの下、「交通安全施設等調査及び消防施設等調査」を行いました。

今回は、主に町道の防護柵及び反射鏡等の設置箇所について実地調査を行い、走行する上で気付いた箇所についても、その都度確認しました。

また、緊急を要するものについては、その都度担当課と連絡を取り、早急に対処してもらいました。



塩入・横別府線（馬場之川付近）側線等の確認



佐多岬ロードパーク線支障木



旧滑川小学校下、ガードパイプ・歩道確認



伊座敷トンネル周辺の安全確認

調査箇所については、左記のとおりです。

- ① 塩入横別府線（馬場之川付近）
- ② 尾之上公民館前水路
- ③ 丸峯自治会・大浜自治会周辺
- ④ 原自治会周辺
- ⑤ 伊座敷トンネル周辺
- ⑥ 鹿屋吾平佐多線（西方地内）
- ⑦ 佐多岬ロードパーク線
- ⑧ 佐多岬2号線
- ⑨ さたでい号
- ⑩ 馬籠・大中尾線
- ⑪ 旧滑川小学校下周辺
- ⑫ 川北坂周辺
- ⑬ 多目的運動広場（ドローン実演）
- ⑭ その他、走行する上で気付いた箇所

調査結果

- ① 町道において側線が消えている箇所が多数見られるため、年次的に計画し、優先すべき箇所から実施するよう要望しました。
- ② 町内の反射鏡については、表面の汚損が多く見られました。また立木等で視界も悪くなっている箇所も見られたので、安全面の確保からも、今後の管理について要望しました。
- ③ 旧滑川小学校下の歩道の防護柵は、今後撤去する予定がないのであれば、雑草が生い茂っており、歩行者が通るには困難であるため、整備するよう要望しました。
- ④ 町内の防火用水標識が消えている箇所が見受けられました。確認をされ、処理を行うよう要望しました。
- ⑤ 災害用ドローンについては、操縦できる職員をこれから育成されるよう要望しました。
- ⑥ その他、委員から出た要望等については、取りまとめ、担当課へ報告しました。

教育産業常任委員会では、令和元年6月3日、佐多シャーベット加工所（第一農産加工施設）、さたでいランド（現状確認）、ボタニカルファクトリー（旧登尾小学校）において、農業と加工業との連携等調査を行いました。

まず、佐多シャーベット加工所は町内で収穫された果実や食材そのものの良さを活かした商品の開発・製造・販売を行い、日本全国の方に美味しいシャーベットやアイスを食べてもらおうことで、地元で大切に育てられたマンゴーやタンカンなどを生産する農家や私たちが活気に溢れ、地域の雇用を生み、若手育成の機会が創出でき、地域の活性化につながりたい思いから誕生しました。



佐多シャーベット加工所において



シャーベットの種類

シャーベットの種類は完熟マンゴー、タンカン、イチゴ、蜂蜜など10種類で年間2万5千カップを製造しているとの事です。

販売先は山形屋、イオン等のほか佐多岬の待合所、雄川の滝やなんたん市場で人気とのこと。

又、ふるさと納税の返礼品でも申し込みがあるそうです。さらに、お中元やお歳暮に10個、3千200円、12個、3千700円、18個、5千200円で受付けており、今後は、安定的な原材料の確保が課題であると話されました。

次に、本年3月末をもって、指定管理者が不在となった、さたでいランドの現状を調査しました。

レストラン、コテージ等は経年劣化により痛みがひどく、修繕を考えると莫大な経費が予想をされるため、閉鎖にするのか修繕するのか検討しているとの観光課長の話であったが、委員の中からは、景観が素晴らしいコテージ等は一部でも修繕して営業することは出来ないのかとの意見もありました。

今後、指定管理の募集ができる方法はないか十分検討してほしいと要望しました。



さたでいランドコテージ



ボタニカルファクトリー（旧登尾小）

ボタニカルファクトリーは、ホーリーバジル、月桃、レモングラス、タンカン、パッションフルーツ等の町内でとれる原材料で化粧品を生産しているが事業開始から4年が経過し、施設が手狭になって来て、生産活動に支障をきたす様になったため、今後生産面積を広げ、業務の効率化を図りたいとの事でありました。又、最近見学者が増加したため、今後、無料休憩所・店舗等の観光施設も考えているため旧登尾中学校も借用したいとの、要望もありました。

今後、原材料の生産・雇用の創出・廃校跡地活用など地元にある企業として規模を拡大してほしいと感じました。

（文責 木佐貫 徳和）

県・郡町村議会 議員研修会に参加

去る5月8日～9日、鹿児島市において県・郡町村議会議員研修会が開催されました。

中央大学法科大学院教授野村修也氏の「地方創生 成功の鍵」との講演の中で、少子・高齢化の時代になり、役所だけが事業の旗を振っても成功するものではなく、攻めの民間活動の必要性を話されました。

一企業に就職するのではなく、自分で地域の実情を把握し、社会的起業に結び付け仕事をしている若者が増加しているとのこと。具体的には、子供、若者の支援に係る活動、日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動、地域社会における活力の低下、その他の社会的に困難な状況にある地域の支援に係る活動などで、それぞれ事業を考え起業している方がいるとの事でありました。

南大隅町においては、空き家、空き地等を資源として、都市との交流を進め、町の活性化に繋げていく起業ができるのではないかと考えさせられる研修でありました。

(文責 木佐貫 徳 和)

編集後記

鹿児島で夏の風物詩と言えば、「水シロクマ」ではなく、そう、「六月灯」です。鹿児島市を中心に県内各地の神社で催され、鹿児島の人に最も親しまれているお祭りです。和紙に絵や文字を描いて作った燈籠を飾り、歌や踊りが奉納されます。島津家十九代藩主光久公が新昌院上山寺の観音堂を再建した折、旧暦六月十八日に沿道に燈籠を掲げたのが始まりとされています。県内最大の六月灯は、毎年七月十五・十六日に開催される照国神社のお祭り、島津光久公の命日が十六日である事から、十五日を前夜祭、十六日を本祭としているそうです。毎年、八〇〇以上の燈籠が飾られ、大勢の人でにぎわいます。規模では劣りますが、根占の諏訪神社でも、地域の方々や子供たちが手作りした燈籠が飾られ、六月灯が開催されます。夏の夜、暑気払いのために、涼を求めて、各地のお祭りに出かけてみてはいかがでしょうか。

これからも、誌面の充実を図りながら、みんなの議会が皆様との架け橋となるよう努力していきます。

水谷 俊一

お知らせ

9月会議は、18日(一般質問)・19日・27日に本庁議事堂で開催予定です。

「みんなの議会」で見える事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

発行責任者

議長 大村 明雄

広報広聴常任委員会

委員長 木佐貫徳和

副委員長 津崎 淳子

委員 水谷 俊一

委員 松元 勇治

委員 後藤 道子

委員 大坪満寿子

表紙の風景

根占幼稚園 プール遊び

